吉野昌甫名誉教授著作目録

著　　書

発行年月	著　　書　　名	著・共著・編著等の別	発　行　所
昭和40年 8 月	『中小企業金融論』	著	全国地方銀行協会
〃 42年 4 月	『日本の貿易と国際収支』	著	全国地方銀行協会
〃 44年 8 月	『金融構造の将来』	著	全国地方銀行協会
〃 48年 4 月	『金融構造の変化と中小企業金融』（全国信用金庫協会編）	共著	日本経済評論社
〃 48年 9 月	『これからの日本経済と信用金庫』	著	日本経済評論社
〃 50年 2 月	『地方銀行論』	著	全国地方銀行協会
〃 53年 3 月	『外国為替入門』	編著（滝沢健三氏と共編）	有斐閣
〃 54年 2 月	『低成長経済と中小企業金融』	著	日本経済評論社
〃 54年 9 月	『国際金融論』	編著（藤田正寛氏と共編）	有斐閣
〃 58年 9 月	『貿易・為替小辞典』	編著	有斐閣
〃 60年 6 月	『裸にされた金融ニッポン』	共著（久水宏之・及能正男氏と）	経済法令研究会
〃 62年 8 月	『外国為替』	共著	全国信用金庫協会
平成 1 年 8 月	『信用金庫』（日経産業シリーズ）	著	日本経済新聞社

学 術 論 文

発表年月	学　術　論　文　名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭和27年 2 月	「利子論についての覚書—ハロッド『動学』をめぐって」	『一橋論叢』	一橋大学	

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭和28年2月	「B. ハンセンのインフレギャップ論と J. S. ミルの『第四命題』」	『季刊理論経済学』	日本理論経済学会	
〃 29年3月	「流動性選好概念の若干の展開」	『政経学会雑誌』	茨城大学	
〃 29年3月	「加速度原理について」	『文理学部紀要』	茨城大学	
〃 29年6月	「賃銀水準と貿易収支」	『金融経済』	金融経済研究所	
〃 30年3月	「製造品価格と原料品価格の関係について」	『文理学部紀要』	茨城大学	
〃 30年7月	「国際均衡化機構とケインズ」	小泉明編『近代経済学の革新』	河出書房	
〃 31年3月	「活動残高と不活動残高の関係」	『文理学部紀要』	茨城大学	
〃 31年6月	「『ファイナンス』について」	『金融経済』	金融経済研究所	
〃 34年10月	「財貨本位と労働本位」	『経済研究』	一橋大学経済研究所	
〃 35年3月	「中小企業向け貸出動向」	『中小企業研究資料(6)』	統計研究会	
〃 36年4月	「中小企業融資と景気循環」	中山伊知郎編『資本蓄積と金融構造』	東洋経済新報社	
〃 36年10月	「国際通貨制度」	『経済セミナー』	日本評論社	
〃 36年11月	「長期運転資金借入金についての研究・その2」	『調査時報』	中小企業金融公庫	
〃 37年6月	「金融引き締め政策とその効果」	『税経セミナー』	税務経理協会	
〃 37年7月	「中小企業金融公庫の在り方」	『調査時報』	中小企業金融公庫	
〃 37年8月	「ケインズとトリフィンにおける金管理問題」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 37年11月	「金融構造の変化と中小企業金融」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 38年4月	「第一次大戦後の金為替本位制の崩壊と問題点」	『バンキング』	産業経済社	
〃 39年5月26日	'Capital transactions and Financial Market'	"Asahi Evening News"	朝日イブニング・ニュース社	
〃 39年6月	「開放経済における景気調整策のあり方」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 39年11月	「国際流動性とキー・カレンシー」	『一橋論叢』	一橋大学	

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭和40年3月	「民間金融機関の業態別貸出における商業の地位」	統計研究会編『第3次産業の長期展望』	統計研究会	
〃 40年3月	「国際資本移動と国際流動性」	『国際経済研究資料(12)』	統計研究会	
〃 40年5月	「国際資本移動」	川口弘・川合一郎編『国際金融と国際通貨機構』	有斐閣	
〃 40年8月	「国際流動性と国際資本移動—キー・カレンシー方式についてのノート」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 40年8月	「キー・カレンシー方式と国際資本移動」	『バンキング』	産業経済社	
〃 42年4月	「貿易金融」	深見義一編『国際マーケティング』	有斐閣	
〃 42年4月	「企業規模別の金融・財務構造の推移」	『調査時報』	中小企業金融公庫	
〃 42年8月	「中小金融制度再編成の方向と問題点について」	『商工金融』	商工組合中央金庫	
〃 42年11月	「変動為替相場制についての問題点について」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 43年5月	「国際経済論の対象」	小泉明・相原光編『国際経済論講義』	青林書院新社	
〃 43年10月	「変動為替相場制についての問題点（Ⅳ）・上」	『バンキング』	産業経済社	
〃 43年11月	「変動為替相場制についての問題点（Ⅳ）・下」	『バンキング』	産業経済社	
〃 44年3月	「為替相場制度と物価問題」	『経済企画庁，昭和43年度委託調査報告書』	統計研究会	
〃 44年5月	「国際資本移動」	小泉明・長澤惟恭編『金融論の基本問題』	東洋経済新報社	
〃 44年7月	「金融効率化と金融秩序」	『経済評論』	日本評論社	
〃 44年9月	「金融機関の競争と金融の効率化」	『調査時報』	中小企業金融公庫	

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭和45年 3 月	「国際緊密度について」	『国際経済研究資料(33)』	統計研究会	
〃 45年 4 月	「貨幣的貯蓄形態の意義」	全国銀行協会連合会・貯蓄増強中央委員会編『現代の貯蓄理論』	全国銀行協会連合会	
〃 46年 5 月	「固定レート下の国際収支黒字調整問題」	『国際経済研究資料(34)』	統計研究会	
〃 46年 5 月	「中小企業と物価上昇問題についての一考察」	『調査時報』	中小企業金融公庫	
〃 46年 9 月	「国際金融仲介業務とキー・カレンシー制」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 46年 9 月	「ニクソン・ショックをめぐる問題点と貿易関連中小企業」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	
〃 47年 1 月	「国際金融仲介業務とキー・カレンシー制（その2）」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 47年 7 月	「国際金融仲介業務とキー・カレンシー制（その3）」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 47年 9 月	「国際通貨制度と黒字国および赤字国の調整問題」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 47年10月	「円の対外価値をどう考えるか」	『金融ジャーナル』	金融ジャーナル社	
〃 48年 6 月	「地域間収支差額と国際収支差額不均衡の調整問題」	全国地方銀行協会編『国際通貨問題の研究』	全国地方銀行協会	
〃 48年 7 月	「ドル本位と国際通貨制度」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 48年 9 月	「国際通貨改革の方向と円の地位」	『金融』	全国銀行協会連合会	
〃 48年10月	「ドル本位制と調整問題」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 49年 5 月	「預金利率決定に関する一考察」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 49年10月	「アメリカの金融政策とユーロ・ダラー」	『黎明叢書113号』	黎明会	
〃 49年11月	「金本位制の経験とその評価」	館竜一郎他3名編『国際金融・Ⅰ』	東洋経済新報社	

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭和49年12月	「金融の国際化と円の地位」	『金融ジャーナル』	金融ジャーナル社	
〃 50年6月	「ユーロ・ダラー制度とドル本位制」	『ビジネス・レビュー』	一橋大学	
〃 50年6月	「ユーロ・ダラー制度についての一考察」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 50年9月	「開放体系・封鎖体系，国際収支・国際貸借，国際資本移動，貿易依存度，輸入需要の所得・価格弾力性，国際収支調整機構，国際価値論・相互需要説，交易条件，順貿易偏向的成長・逆貿易偏向的成長，ドル問題，ダンピング」	高橋泰蔵・増田四郎編『体系経済学辞典(改訂版)』	東洋経済新報社	
〃 50年9月	「預金者からの銀行儲け過ぎ論」	『金融界』		
〃 50年11月	「ユーロ・ダラー市場取引きと『トランスファー』問題」	『山口茂先生追悼記念集』	東洋経済新報社	
〃 51年4月	「国際収支の調整」	小泉明・相原光編『新訂国際経済論講義』	青林書院新社	
〃 51年11月	「業態別金融機関の自社経営上の重要事項について」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 51年11月	「国際収支調整とドル本位」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 52年2月	「業態別金融機関の総利削に関する見通しと総利鞘維持拡大案の関係について」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 52年6月	「業態別金融機関の中小企業向け貸出しに際しての重視項目の推移について」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 52年8・9月	「政府系中小専門金融機関の貸出し分野についてのあり方に対する民間金融機関の評価」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	
〃 52年10月	「政府系中小専門金融機関の貸出し分野に対して民間金融機関が期待するあり方」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	
〃 52年11月	「銀行経営の現況と今後の展望」	『金融総合年鑑・		

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
		1978』	近代セールス社	
昭和52年11月	「政府系中小専門金融機関の金融緩慢時の役割のあり方に関する重要事項および政府系中小専門金融機関の利用状況などについて」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	
〃 52年12月	「相互銀行の今後の発展方向について」	『金融制度研究会に対する報告』	全国相互銀行協会	山田良治氏
〃 53年1月	「低成長経済と金融機関の課題」	『金融』	全国銀行協会連合会	
〃 53年4月	「中小企業との取引に際して業態別金融機関にとっての他金融機関との関係における金利以外の要因の重要性およびその重視項目について」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 53年5月	「景気回復のための金融的対策とその問題点」	『かんぽ資金』	簡保資金研究会	
〃 53年5月	「ユーロ・ダラーとドル本位」	『一橋論叢』	一橋大学	
〃 53年9月	「『従来』および『今後』における業態別金融機関による中小企業向け貸出しに伴うリスクへの対応策」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 53年10月16日	「中小金融機関における『守り』と『攻め』の経営」	『金融財政事情』	金融財政事情研究会	
〃 53年11月	「金融構造の変化」	『金融総合年鑑・1979』	近代セールス社	
〃 54年2月	「固定為替相場と自由変動為替相場の理論」	小泉明・花輪俊哉編『金融概論』	春秋社	
〃 54年5月	「企業規模別にみた設備投資と長期金融機関借入れ金をめぐる問題点」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	
〃 54年8月	「効率性と公共性・社会的公正との調和をめぐって」	『金融』	全国銀行協会連合会	
〃 54年11月	「低成長経済と金融構造の変化」	『金融総合年鑑・1980』	近代セールス社	
〃 55年3月	「企業規模別での法人企業の短期金融状態の推移」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭和55年4月	「キー・カレンシーとしてのドルと外国為替相場の諸問題」	荒憲治郎他4名編『戦後経済政策論の争点』	勁草書房	
〃 55年6月	「キー・カレンシー制度と収支調整」	『ビジネス・レビュー』	一橋大学	
〃 56年5月	「預貯金金利決定の一元化と金利の自由化」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 56年11月	「郵貯懇答申の論点」	『ジュリスト』	有斐閣	
〃 57年7月	「中小企業における長期資金調達の在り方に関する調査」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 57年9月	「回答中小企業の従業員規模別構成比を中心としたアンケート調査結果のまとめ」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 57年11月	「回答中小企業の資本金規模別構成比を中心としたアンケート調査結果のまとめ」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 58年1月	「キー・カレンシーとしてのドルとビナイン・ネグレクト政策」	『金融』	全国銀行協会連合会	
〃 58年5月	「経常収支黒字基調のゆくえ」	『Cab』	経済法令研究会	
〃 58年7月	「回答中小企業のメイン金融機関業態別構成比を中心としたアンケート調査結果のまとめ」	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
〃 58年11月14日	「『公的・民間金融のあり方に関する研究会報告』の考え方」	『金融財政事情』	金融財政事情研究会	
〃 59年1月	「国際化と中小企業金融」	『地域協同金融研究シリーズ』第16集	農林中央金庫調査部研究センター	
〃 59年5月	「MMC—その機能と金利自由化に与える影響」	『Cab』	経済法令研究会	
〃 59年8月	「国際貨幣体制のあり方とその最終目標—R. N. クーパーの考え方を中心に—」	『金融』	全国銀行協会連合会	
〃 59年10月1日	「円の国際化と地域金融機関の対応」	『金融財政事情』	金融財政事情研究会	
〃 59年11月	「国際通貨体制のあり方とその枠組み—E. L. モースの考	統計研究会編『世界	統計研究会	篠原三代平氏

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
	え方を中心に—」	経済の動態的展開』		他数名
昭和59年9月	Problems Concerning the Internationalization of the Yen and Japan's Financial Institutions.	*Review of Currency Law and International Economics*, Quarterly Review	Legislazione Nationale E Internationale Ricerche, Milano.	
〃 59年10月	「日本の金融機関および円の国際化」	一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series, No. 40.	一橋大学経済研究所	
〃 60年4月	「金融の自由化をめぐる問題点」	『金融経済セミナー』	経済法令研究会	
〃 60年5月	「山口茂教授における金融論の学風」	『橋問叢書・40号』	一橋の学問を考える会	
〃 60年8月	「今次『金融自由化とその環境整備』の意味するもの」	『金融経済セミナー』	経済法令研究会	
〃 60年11月	「これからの政策金融の役割と中小企業金融」	『中小企業信用保険公庫月報』	中小企業信用保険公庫	
〃 61年3月	「国際貨幣体制の変革のパターンとその仕組み—E. L. モースの所説のまとめを中心に—」	一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series, No. 136.	一橋大学経済研究所	
〃 61年7月	「G-5以後の国際金融・経済環境の変化とそれに対応する金融の自由化」	吉野昌甫・及能正男・楠本博編集『銀行—環境激変化の対応』	経済法令研究会	
〃 61年7月	「金融革新と金融政策の関係—BIS『年次報告書』の見方を中心に—」	『金融自由化と金融政策』	金融調査研究会	伊東政吉，田村茂氏等
〃 62年4月	「金融自由化の進展と金融慣行」	吉野昌甫・及能正男・楠本博編集『金融慣行—自由化の背後にひそむ問題点』	経済法令研究会	
〃 62年7月	『最近の国際通貨・貿易問題とわが国の対応』(共同研究	『井上委員会調査報	日本経済調査協議	篠原三代平主

発表年月	学術論文名	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
	報告書)	告，87—1』	会	査の共同研究
昭和62年11月	「セキュリティゼーションと危険負担」	『セキュリティゼーションと金融システム』	金融調査研究会	館竜一郎・伊東政吉氏等
〃 62年12月	A Special Report; Recent Trends in International Monetary and Trade Issues and Japanese Responses Thereto.(共同研究報告書)	"*A Special Report*" by Japan Economic Research Institute.	日本経済調査協議会	篠原三代平主査の共同研究
〃 63年1月	「セキュリティゼーションをめぐる問題点」(討論：及能正男，楠本博氏が共同討論者)	吉野昌甫・及能正男・楠本博編集『セキュリティゼーションと銀行』	経済法令研究会	
〃 63年8・9月	「金融の自由化・国際化と中小企業金融」	『中小企業金融公庫月報』	中小企業金融公庫	
平成1年3月	「シンジケート・ローンの復調をめぐる問題点」	『金融経済セミナー』	経済法令研究会	
〃 1年8月	「相互銀行の普通銀行転換とその変化の方向」	『かんぽ資金』	簡保資金振興センター	

翻訳書

発行年月	翻訳書名	訳・共訳等の別	発行所
昭和36年3月	(論文) R. プレビッシ「低開発国における通商政策」(『アメリカーナ』1961年3月号，第7巻，第5号所収)	訳	好学社
〃 42年2月	A. G. ハート，P. B. ケネン著『現代金融論』	共訳(山下邦男氏)	日本評論社
〃 58年7月	P. A. サミュエルソン著『国際経済学—サミュエルソン経済学体系，5』(「戦後為替相場における不均衡」)	共訳	勁草書房

付記　随筆・感想文等は省略.